

笑顔で対話

令和6年2月

羽島市教育委員会 教育政策課

真剣 全力 太陽の顔 ～竹鼻小・きらめき歌声集会～



11月25日(土)に、竹鼻小学校では「きらめき歌声集会」が開催されました。スローガン「真剣 全力 太陽の顔」～心を一つに美しい歌声を響かせよう～のもと、みんなで音楽をつくり出す喜びを味わいました。

特に6年生は「卒業を前に、6年間の集大成を！」と、仲間と共に練習に励みました。感想では「歌い終わって、たくさんの拍手をもらった時、みんなでがんばってよかった。」と、仲間への感謝の気持ちを語るなど、大きな充実感を得ることができました。

「響心」 ～竹鼻中・合唱フェスタ～

11月29日(水)に、竹鼻中学校では、「合唱フェスタ」が開催されました。

全校生徒にとっては、コロナ禍もあり、入学後、初めて大きな舞台上で合唱を披露する機会になりました。

生徒は「よりよい合唱を目指して何度も仲間と意見を交わしながら創り上げた合唱。一つの目標に向かって仲間と共に創り上げてきたことが学級の財産になりました。この財産をこれからの学校生活に生かしていきたい。」と語りました。



広げよう 思いやりの心 ～堀津小・ひびきあい集会～



12月4日(月)に、堀津小学校では、人権について考える「ひびきあい集会」が行われました。

集会では、事前に「もっとホットに堀津小！」キャンペーンとして仲間のよさ見つけを行った結果を交流しました。また、図書委員会の児童による人権に関する絵本の読み聞かせを聞き、縦割りグループで感想を交流しました。

子どもたちは、堀津小に「思いやり」や「やさしさ」が広がっていることを実感するとともに、自分のよさを生かし、仲間を大切にしたいという思いをもつことができました。

自分の命は、自分で守る ～羽島中・校内危険箇所確認訓練～



1月25日(木)に羽島中学校では、校内危険箇所確認訓練を実施しました。

参加した生徒は、防災士の方々からの講話を聞く中で「避難訓練どおりに避難できるとは限らないこと」に気付くことができました。

校内を回りながら危険箇所を確認する活動では、「階段で地震が発生したら…」「蛍光灯が割れたら…」と、実際に地震が発生した場合は、自分の命を自分で守るためには、どのようなことを考え、どのように行動するのか考えることができました。

よりよい教育の実現に向けて協議 ～総合教育会議 不登校支援～

令和5年12月26日(火)、第1回羽島市総合教育会議を行いました。今回のテーマは「学びの多様化を支援するシステムの構築」でした。羽島市の不登校児童生徒数は全国同様、増加傾向にあります。

羽島市では、必ずしも学校復帰を求めるのではなく、将来的な社会的自立に向け、すべての子とつながりをもつことを大切にしています。今年度6月、新たに小熊小学校内に適応指導教室「のぞみ」を開室しました。また、メタバース適応指導教室「Room-HIKARI」を活用した支援も始めたところです。

各学校では一人一人にとって魅力ある学校づくりを推進しています。現在登校している子も不登校の子も含め、誰一人取り残さない教育の推進について、教育委員の皆様から、ご意見が出されました。



適応指導教室「のぞみ」

お知らせ【給食センターより】



学校給食献立表の中には、二次元コードがあることをご存じですか？

毎月の給食献立の中から「子どもたちに人気の献立」「郷土料理」「家庭でも食べてもらいたい献立」の作り方を掲示しています。

2月に二次元コードで紹介する献立は、「華風炒め」です。食材の購入の際など「献立紹介」を参考にしてみてください。

献立表の二次元コードから、その月の給食献立を開き、「給食だより」をご覧ください。



羽島市教育委員会 〒501-6292 羽島市竹鼻町55番地

TEL (058) 393-4611 FAX (058) 391-0906

Email : kyoiku@city.hashima.lg.jp